

## 潮来市A I - O C R及びR P A導入業務委託仕様書

### 1 業務名

No	業務名
①	潮来市A I - O C R導入業務
②	潮来市R P A導入業務（後期高齢者医療保険・女性がん検診関係業務）
③	潮来市R P A導入業務（介護認定調査業務）

### 2 業務履行場所

潮来市役所、かすみ保健福祉センター

### 3 業務内容

#### （1）業務管理

- ① 本業務全体の管理を行うこと。業務上必要となるスケジュールの作成、人員や工程の調整、課題やリスクの管理、安全の確保等を行い、業務の円滑な進行ができる体制を整えること。
- ② 必要に応じて打合せ及び進捗状況の報告を行うこと。

#### （2）製品の調達等

市職員が利用するA I - O C R及びR P Aを調達すること。調達にあたっては、以下の事項を満たすこと。

#### ① A I - O C R及びR P Aに関する共通事項

- ア 日本語版を調達すること。
- イ 導入時点で最新版を調達すること。最新版でない製品を調達する場合は、提案の中でその理由を説明すること。
- ウ 令和7年3月31日まで利用可能であること。また、その後も市とベンダーで契約し、利用可能であること。
- エ サポート情報（製品サポート情報や技術情報、マニュアル等）が日本語で提供されること。
- オ 「4 動作環境」に示す動作環境に対応していること。
- カ 見積金額には、A I - O C R及びR P Aの環境構築に要する初期設定費用を含めること。
- キ 従量課金がある場合は、別途従量課金の料金体系が分かる書類を添付すること。
- ク 複数の案件に参加する場合は、単独の案件で契約する場合と複数の案件で契約する場合のそれぞれを想定した見積書を提出すること。（契約を希望する形態に合わせ様式8-1～8-5の見積書のいずれかを提出すること。）

② A I - O C Rに関する事項

- ア 複数の端末での共同利用が可能であること。
- イ 情報セキュリティ対策の観点から、L G W A N接続系端末で利用することができるツールを調達すること。
- ウ 読取結果について、C S V形式でエクスポートできる機能を有すること。
- エ L G W A N接続系端末においては、本市が所有する以下の複合機によりスキャンして生成したP D Fデータの読み取りが可能なこと。

スキャン機能を使用する予定の複合機	メーカー
I R - A D V C 5 8 7 0 F	キヤノン
I R - A D V C 5 8 4 0 F	キヤノン
I R - A D V C 4 9 2 5 F	キヤノン

- オ 手書き文字でも読み取りが可能なこと。
- カ 複数行にわたって文字が記述されていても読み取りが可能なこと。
- キ 手書文字の識字率が90%以上であること。
- ク 月6万項目程度の読み取り項目数を想定した見積金額を提示すること。

③ R P Aに関する事項

- ア 開発ができるライセンス及び実行ができるライセンスの数量は、以下の通りとする。  
R P A導入業務においては、2つの案件で同一の事業者と契約する場合は、各案件で同一のR P Aツールを利用することを予定しているため、以下の通り各案件の契約事業者が同一である場合と異なる場合で、必要な開発ライセンスの数が異なる。

そのため、複数の案件に参加する場合は、単独の案件で契約した場合と複数の案件で契約した場合のそれぞれを想定した見積金額を算出すること。

《案件ごとにそれぞれ異なる事業者と契約する場合のライセンス数》

業務名	開発	実行	利用端末
潮来市R P A導入業務 (後期高齢者医療保険・女性がん検診関係業務)	1	2	「マイナンバー利用事務系」のみ
潮来市R P A導入業務 (介護認定調査業務)	<u>2</u>	2	「マイナンバー利用事務系」・「L G W A N接続系」の両方

《2つの案件で同一の事業者と契約する場合のライセンス数》

業務名	開発	実行	利用端末
潮来市R P A導入業務 (後期高齢者医療保険・女性がん検診関係業務)	1	2	「マイナンバー利用事務系」のみ
潮来市R P A導入業務 (介護認定調査業務)	<u>1</u>	2	「マイナンバー利用事務系」・「L G W A N接続系」の両方

- イ オフライン又はL G W A N - A S Pサービスを利用することで、別途サーバー等を導入することなく、ライセンス認証等を行うことができるソフトウェアであること。

ウ RPAツールをインストールした機器は、市庁舎内に設置することにより、市職員がRPAシナリオの開発、実行を可能とすること。

エ RPAツールは、ノードロックライセンス（スタンダードライセンス）方式とし、端末機の更新や運用変更に伴い、利用するライセンスを別端末に移すことができること。また、将来的に対象業務や利用部署が増えた場合には取得したライセンス数の範囲内で端末を限定せず利用可能なフローティングライセンス方式への移行も考えられることから、フローティングライセンス方式でも提供していること。なお、フローティングライセンス方式は、LGWAN-ASP上のサービスを利用することで、別途サーバー等を導入することなく、ライセンスの一括管理が可能なこと。

オ 各案件で使用するRPAツールのユーザーインターフェースは以下の通りとする。

業務名	ユーザーインターフェース
潮来市RPA導入業務 (後期高齢者医療保険・女性がん検診関係業務)	プログラミング経験がない市職員であっても、シナリオ作成や修正等を容易に行うことができるようなユーザーインターフェースを持つこと。
潮来市RPA導入業務 (介護認定調査業務)	プログラミング経験がない市職員であっても、シナリオのフローを確認できるようなユーザーインターフェースを持つこと。

カ キーボードやマウスを使った打鍵操作による記録、又はフローの記述による記録に対応していること。また、条件分岐や繰り返し処理の記録に対応していること。

キ 画像認識技術を用いて操作対象の認識が行えること。

ク 作成したシナリオは、端末間で共有できること。

ケ シナリオの実行が停止した場合に停止箇所がわかる等、原因究明が容易であること。

### (3) 環境構築

市職員が利用できるようにAI-OCR及びRPAの環境構築を行うこと。環境構築にあたっては次の事項を留意すること。

- ① 市庁舎内に設置された業務端末で、市職員による利用を可能とすること。
- ② AI-OCR及びRPAを導入する端末については市で準備する。
- ③ 追加の機器等が必要となる場合は、その費用は本業務の範囲内とし、設置について事前に市と協議を行うこと。
- ④ 事前にシステム管理部署やネットワーク保守委託先業者との十分な協議・検討を行うこと。

### (4) RPA導入業務における職員研修及びオンラインサポートの実施

RPA導入業務においては、以下の内容を含む研修及びオンラインサポートを実施すること。その他の内容や実施時期等の詳細については、契約締結後に本市と協議の上、決

定すること。

項目	詳細
内容	① シナリオ作成に関するハンズオンセミナー、相談会等 ② オンラインによる操作方法等のサポート
実施場所	上記①については潮来市役所内の会議室とし、②についてはオンラインとする。

(5) A I - O C R の各種設定や課題対応等

A I - O C R の読取方法、項目の設定など、必要な各種設定や利用時に発生する課題などに対し、市担当者と協力し、受託者が有する専門的な知見、経験に基づく具体的な助言と技術的支援を迅速に行うこと。

(6) R P A シナリオの作成

受託者はシナリオ作成にあたって、対象業務の担当課にヒアリング等を実施し、業務の現状分析を行い、R P A 等の導入にあたり業務の見直しが必要であると判断する場合は、見直しに向けた提案を行うこと。なお、シナリオ作成の対象業務は以下の業務とする。

【対象業務】

① 潮来市 R P A 導入業務（後期高齢者医療保険・女性がん検診関係業務）

ア 後期高齢者医療保険関係業務

業務内容	保険料還付請求書の読み込みを行い、還付請求書に記載されている還付先口座の情報（金融機関名、支店名、口座番号、名義人等）をマイナンバー利用事務系システムへ転記・登録する。
事業主管課	市民課保険年金G
業務実施時期	10月頃
処理件数	上記業務実施時期において100件程度
A I - O C R の適用範囲	後期高齢者医療保険に関する還付請求書
R P A の範囲	後期高齢者医療保険に関する還付請求書に記載されている還付先口座の情報のマイナンバー利用事務系システムへの入力

イ 女性がん検診関係業務

業務内容	Excel、CSV等のデータで管理している検診申込者の情報（住所、氏名、生年月日等の個人情報、受診する検診の種類等）をマイナンバー利用事務系システムに入力し、受診券を印刷する。
事業主管課	かすみ保健福祉センター市民健康G

業務実施時期	通年
処理件数	通年で200件程度
AI-OCRの適用範囲	無し
RPAの範囲	Excel、CSV等のデータで管理している検診申込者の情報のマイナンバー利用事務系システムへの入力及び受診券の印刷

## ② 潮来市RPA導入業務（介護認定調査業務）

### ア 介護認定調査業務

業務内容	被保険者等から提出される認定申請書の情報（申請日、被保険者の氏名、生年月日、性別、被保険者番号、申請者氏名、要介護状態区分、要介護認定の有効期間、医療機関情報、主治医氏名等）をマイナンバー利用事務系システム及びLGWAN事務系システムに入力する。マイナンバー利用事務系システムから出力される認定調査票を用いて認定調査員が調査し、調査結果を当該調査票に手書きで記入する。手書きで記載された認定調査票の結果（60項目程度）をLGWAN事務系のシステムへの入力及びマークシートに転記を行う。
事業主管課	高齢福祉課高齢福祉G
業務実施時期	通年
処理件数	月100件程度
AI-OCRの適用範囲	介護保険要介護（更新）認定・要支援（更新）認定申請書、調査結果を記入した認定調査票
RPAの範囲	・介護保険要介護（更新）認定・要支援（更新）認定申請書の情報のマイナンバー利用事務系システムへの入力 ・調査結果を記入した認定調査票の情報のLGWAN事務系システムへの入力及びマークシートへの出力

## （7）保守・運用支援体制の構築

- ① AI-OCR及びRPAを円滑に運用できるためのサポート体制を構築すること。
- ② 平日の業務時間（原則本市の執務時間）の電話及びメールでの対応を基本とするが、障害等に当たっては、必要に応じてオンサイトでの対応を行うこと。
- ③ 問い合わせ対応等を取りまとめた報告書を作成し、市の求めに応じて提出すること。
- ④ システムに起因する端末の不具合、故障等が発生した場合は、速やかに復旧作業を行うこと。

(8) マニュアルの作成

- ① 導入するA I－OCR及びR P Aの主要な機能や利用方法等について解説したマニュアルを提供すること。
- ② 本業務で作成したシナリオごとに実行マニュアルを作成すること。

(9) その他

- ① 本業務において作成したシナリオ等及びプログラムに不具合があった場合やA I－OCR及びR P Aのアップデートがあった場合、市と協議の上、無償で対応すること。
- ② 本仕様書に記載されていない事項であっても、本業務の効果が向上すると思われるものについて、積極的な提案を行うこと。

4 動作環境

動作環境については、以下の環境を想定している。

(1) 動作環境

マイナンバー利用事務系

OS	Windows 10 Pro 64bit
CPU	インテル Core i5
メモリ	8GB・16GB
ストレージ	HDD500GB・SSD256GB

LGWAN接続系

OS	Windows 10 Pro 64bit
CPU	インテル Core i3・i5
メモリ	4GB・8GB
ストレージ	HDD500GB・SSD256GB

(2) ネットワークの三層分離

ネットワークの三層分離により、市のネットワークはマイナンバー利用事務系、LGWAN接続系、インターネット接続系に分かれている。また、マイナンバー利用事務系端末及びLGWAN接続系端末については、インターネットへの直接の接続はできない。

5 成果品

成果品として、以下のものを紙媒体及び電子媒体（CD－R等）で納品すること。

- (1) 業務完了報告書
- (2) マニュアル
- (3) 議事録、報告書、研修資料等本業務の実施にあたり作成した資料

6 個人情報の保護

個人情報については、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）、その他

関係法令等に基づき、適正に管理し、取り扱うこと。

## 7 秘密の保持

- (1) 本業務の実施時において知り得た情報の取扱いに十分留意し、他に漏洩等が行われないようにすること。
- (2) 市が使用しているシステム、共有フォルダ、書類等について、市の許可なく閲覧しないこと。また、秘密情報へのアクセスおよび情報流出の疑いのあるような行為は行わないこと。
- (3) 市が所有する情報を持ち出す必要がある場合は、保管計画を提示した上で市の許可を得ること。持ち出す場合は、セキュリティ（情報及び物理）を徹底すること。
- (4) 本業務の遂行にあたって、知り得た機器構成の内容及び市のシステムの概要、データ、その他情報等については、第三者に公表してはならない。機密保全、情報公開に関わる全ての事項については、市の指示に従うこと。このことは、本業務が完了した後においても同様である。

## 8 その他特記事項

- (1) 業務の遂行にあたっては、責任者及び担当者を明らかにし、市と連絡を密に取りながら誠実に履行すること。
- (2) 本仕様書に定めのない事項については、市と受託者が協議して実施方法等を定めるものとする。